



未来につなげるSDGsとビジネス 2

～広島における企業の取組現場から～

はじめに

2015年に国連サミットにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）が掲げられ、国内外で本格的に推進されてきています。2030年をゴールとするSDGsの達成のためには、貧しい国も、豊かな国も、中所得国も、すべての国々がパートナーシップのもとで共に取り組むことが求められ、それは広島でも例外ではありません。しかし、広島県内でのSDGsの認知度はまだ高いとは言えない状況にあります。

この事例集は、SDGsの実現に向けて地元企業の皆様が様々な取組を進めていることを紹介することで、SDGsの認知度を高め、SDGsビジネスの強化を目指して発行するものです。

今回、第2弾となるこの事例集をきっかけに、広島県内外の多くの方々にSDGsに興味・関心を持っていただければ幸いです。

目次

目次	1	株式会社マエダハウジング	19
知事メッセージ	2	株式会社 SANKYO	20
SDGs 解説	4	株式会社ラックス	21
企業の SDGs 取組事例		株式会社広島銀行	22
医療法人社団敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科	5	ウムヴェルト株式会社	23
株式会社エネルギア・コミュニケーションズ	6	株式会社 HIVEC	24
株式会社日本パーカーライジング広島工場	7	株式会社エフピコ	25
マナック株式会社	8	株式会社こっこー	26
株式会社西日本電工社 デイサービスセンターショートステイゆめ園 広島	9	株式会社ヤマワ	27
社会福祉法人永照福祉会	10	井本建設株式会社	28
有限会社コズミック	11	一般財団法人広島県環境保健協会	29
積水ハウス株式会社 広島支店	12	丸栄株式会社	30
ビルックス株式会社	13	株式会社松田製袋	31
リコージャパン株式会社	14	未来会計 FAMZ 岡崎純也税理士事務所	32
株式会社東広島タクシー	15	一般社団法人 one dream	33
株式会社虎屋本舗	16	参加学生コメント	34
株式会社チューゲイ	17	参加企業コメント	35
尾道 OMOTENASHI 株式会社	18	編集者一覧	36

知事メッセージ



広島県知事
湯崎 英彦

広島は、人類初の原子爆弾により多くの生命が奪われ、都市機能を破壊され、一度は廃墟となりました。しかし、広島の人々は、様々な苦難を乗り越え、平和の街として復興し、繁栄した社会を構築してきました。この経験から、広島には国際平和の構築のために貢献していく使命があると考え、「国際平和拠点ひろしま構想」を策定し、国際平和の実現に向けて取り組んできました。

こうした中「誰一人取り残さない」持続可能で平和な社会の実現のため、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）が2015年に国連で採択され、国際社会において本格的に推進されており、広島県は、2018年に内閣府から「SDGs未来都市」の一つに選定され、SDGsを通じた国際平和の実現に向けた取組を推進しています。

この取組の一環として、大学生のSDGsビジネスに対する理解を促進し人材育成を図るとともに、県内のSDGsビジネスについてのノウハウや萌芽事例を蓄積し、国内外に向けて発信するために「未来につなげるSDGsとビジネス」を制作しています。これは、地元

企業による SDGs ビジネスの魅力的な取組を取りまとめ、広島県内外の方に広く紹介する事例集であり、この度第2弾を発行しました。制作にあたっては、今回も県内の大学生に参加いただいて企業訪問・取材、記事の執筆を行い、昨年を上回る 29 企業・団体を紹介しています。

このほか「国際平和のための世界経済人会議」では、ビジネスセクターなどの SDGs への参画を促進する広島発のエコシステムの形成を目指し、プログラムの一つとして、SDGs ビジネスコンテストを実施し、県内企業への SDGs ビジネスの推進を図っています。

こうした取組により、広島が有する平和のシンボル性を活かしつつ、県内外の様々なステイクホルダーの関心を高め、紛争地域や途上国をはじめ、世界の経済の安定・発展に寄与し、SDGs の達成を図るとともに、広島県の更なる発展を実現してまいりたいと考えております。

終わりにになりましたが、御参加いただいた企業及び学生の皆様、昨年度に続いて御尽力いただきました環境省中国環境パートナーシップオフィス様をはじめ、関係者の皆様に心から感謝申し上げて御挨拶いたします。

SDGs解説



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



すべての人に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する



強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る



国内および国家間の格差を是正する



都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする



持続可能な消費と生産のパターンを確保する



気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る



海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGs とは？

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略。持続可能な社会をつくるために、世界が抱える問題を17の目標と169のターゲットに整理したもの(2015年9月に国連で採択)。2030年までに、政府、企業、地域社会のあらゆる人が、SDGsを実現するための役割を担っている。



多職種で「食べる」を支える歯科医院



管理栄養士によるキッチンでの健康料理教室

医療法人社団敬崇会 猪原歯科・リハビリテーション科

〒福山市多治米町5丁目28-15

☎084-959-4601

🌐<http://www.inohara-dental.net/>

当院は、歯科診療所を母体とした医科歯科併設診療所・介護事業所です。むし歯治療や歯周病治療といった一般的な歯科診療に加えて、「食べる」ことを支えるクリニックとして、地域住民に対する栄養教室の開催を通じた低栄養予防や生活習慣病予防、脳卒中等による摂食嚥下障害へのリハビリなども積極的に行っています。例えば、毎月の管理栄養士による料理教室を開催し、クリニック内のキッチンを使って、安全に、かつ、おいしく・楽しく、食べ続けてもらえるような取り組みを行っています。また、当院ではひとり親家庭の職員が多いため、柔軟に働けるような職場づくりに取り組んでいます。そして、スタッフが主体となって設立したNPO法人えがおのまちづくりステッキと協働して、医療ケアが必要な子ども達に大道芸を通して笑顔を届け、社会参加をお手伝いするプロジェクトも継続的に行っています。

SDGsポイント

猪原歯科・リハビリテーション科は、一般的な歯の治療だけでなく、「食べる」ことを通じて、全身の健康を支える活動を行っています。特に最近、高齢者に増えてきている「かくれ飢餓」の問題を解決するために、健康教室、栄養指導、高タンパク質・嚥下食などの調理方法、食べ方提案などを、地元住民といっしょに「まちカフェ活動」として、取り組んでいます。





AI/IoTを活用した次世代農業による農業労働・環境の再生の実現～持続可能な安心・安全な食文化～



レモン農場を管理されている末岡さん

株式会社エネルギア・コミュニケーションズ

〒広島市中区大手町 2 丁目 11-10 NHK 広島放送センタービル 19 階

☎ 050-8201-1402

🏠 <https://www.enecom.co.jp/>

エネコムでは、「AI/IoT 技術を活用し、農業など課題解決・地域課題解決」を掲げて、広島県の特産品のレモン栽培実証実験をとびしま海道にある大崎下島で行っています。この取り組みは、産学官が一丸となり、データの収集や分析、機械化による収穫量の安定化や技術伝承を行い、持続可能な農業手法の構築により、食料自給率向上や耕作放棄地再利用などの農業と地域の課題解決を目指しています。特徴としては、「レモン樹周辺に設置したセンサーからのレモン栽培データの分析による最適な栽培手法の確立」「労働環境が厳しい傾斜地にドローン・ロボットを活用した作業支援」「衛星通信を活用するなどの災害時等の通信手段の確保」など、様々な課題に対して取り組んでいます。今後は、現在のレモン栽培実証実験のさらなるデータ蓄積・分析、大崎下島以外のフィールドでの実証および他の農作物での実験を行い、地域課題解決とともに次世代農業による農業労働・環境の再生の実現に向け、取り組んでいきます。

SDGs ポイント

エネコムが得意とする AI/IoT 技術を活用し、持続可能な農業分野の在り方として、広島県の特産品のレモン栽培のデジタル化を行っていくことによって農業の諸問題解決や、食料自給率やフードロスの問題の解決だけでなく、人口減少による就農課題など地域課題解決の取り組みにも繋がる。

3 すべての人に
健康と福祉を

日本の技術を世界に



研修員の皆さんが熱心に学んでいる様子

株式会社日本パーカーライジング広島工場

〒広島市中区大手町 2 丁目 8-4 パークサイドビル 9 階

☎ 082-247-4227

🌐 <https://www.hiroshima-parker.co.jp/>

皆さんが何気なく見ている道路標識。この中には交通安全のための大切な情報が記載されています。また、昼間の視認性はもちろん、夜間でも見えやすい素材の利用や工夫がなされ、これらの日本の高い技術は世界からも注目されています。

株式会社日本パーカーライジング広島工場では、日本の道路標識の技術を学び、自国での交通安全のために役立ててもらうため、開発途上国から参加する JICA 研修員を受け入れ、道路標識に係る日本の技術・制度について、標識製作工程の見学を中心とした研修を行っています。実際の素材を使用したミニチュア（A4 判程度）標識の製作体験を含むこの研修により、それぞれの国の事情に合致する標識を製作し、整備する際の参考にしてもらいたい、世界の道路交通事故を減らす手助けをしたいと考えています。

SDGs ポイント 9

開発途上国では、急速な経済発展に伴い自動車交通需要が増大していますが、これに対応するための道路整備に関するノウハウがまだありません。日本の高い技術を世界に直接発信できることが、この取組の強みだと考えます。技術をそのまま押し付けるのではなく、それぞれの国で応用し、効果的・効率的な道路整備を検討するよう促すこの取組は、持続可能な開発を目指すものです。





スペシャリティーケミカルで社会の進化・発展に挑む



1900年代初頭から70年頃まで 実際に使われていた臭素を製造する装置

マナック株式会社

〒広島県福山市箕沖町 92

☎ 084-954-3330

🌐 <http://www.manac-inc.co.jp/>

あなたが持っているスマートフォン、それが出来上がるまでにどれくらいの人に関わっているか、考えたことはありますか？

マナック株式会社は、身近な家電製品など幅広い分野で使われている化学品の中間体の製造をしています。特に医薬品中間体、難燃剤などの製造で、健康と福祉、日々の生活に安心と快適な生活環境を提供しています。

スマートフォンの端末やテレビの外枠が熱くなっても発火までしない。これらはマナックの臭素化技術によるもので、製品を加工する際にマナックの難燃剤（ものを燃えにくくする添加剤）が活用されています。

普段何気なく使っているその製品は、人と技術の結晶であり、私達の健康と安全が考え抜かれています。こうした製品づくりにより、人々の健康と社会の発展を手助けしています。

SDGsポイント

化学品の中間体は、私達の生活には欠かせない身近なもの「安全面や環境」に大きく関連する技術です。普段よく目にする製品を直接作っているわけではなく、原料と最終製品の間の中間原料を作っています。これらは様々な分野・製品で活用されているため、私達の生活を支えている、まさに縁の下の力持ちです。

また、化学製品を扱う工場は、地震や津波などの自然災害が起これにくい、瀬戸内海に面した福山に置かれ、安全面や環境面に配慮されています。

3 すべての人に
健康と福祉を

地域の健康と笑顔を守る



楽しそうなクリスマスパーティーの様子

株式会社西日本電工社 デイサービスセンターショートステイめぐみ園 広

〒呉市広大新開 1 丁目 3-24

☎ 0823-36-7652

🌐 <http://www.megumien.net/>

電機設備の設計・施工を行う株式会社西日本電工社は、高齢化社会の進展を見据え、平成 15 年より介護事業に進出しました。「めぐみ園広」は、小規模経営で職員が利用者一人ひとりと触れ合うことを大切にしながら、生まれ育った地域で長く暮らすことをサポートしています。施設で過ごすことによる運動機能の低下等を防ぐため、機能訓練、リハビリ、認知症予防の活動に積極的に取り組むほか、行事の開催には特に力を入れており、年を重ねても生きがいをもって日々を過ごせるように、皆さんの生活が豊かになるように、との願いを込めて毎月様々なイベントを企画しています。季節の行事だけでなく、魚をさばくところから始まるお寿司パーティーや、シェフを招いての天ぷらパーティーなど他にはない工夫を凝らした取り組みで笑顔を引き出し、これからも利用者さんの健康と笑顔を守っていきます。

SDGs ポイント 14

現地では職員さんと利用者さんの明るい笑顔が印象的でした。職員さんに「健康であることとは？」と聞くと、「心が健康であることだと思う」と答えられ、職員さんが行事等を通して利用者さんの健康を守っているのだと感じました。園内の廊下には行事写真がいくつも飾られ、いつでも思い出を目にできるよう工夫されています。そんな細かな気配りも健康の推進に大きく益するのではないかと思います。また、9割を占める女性職員の待遇改善にも積極的に取り組んでいます。休憩室の整備や病児保育制度を充実させジェンダー平等を推進し、より女性が働きやすい環境を心がけている点も大きな特徴です。



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



12 つくる責任
つかう責任



未来をはぐくむ保育とはたらきかた



子供達が話し合い、歯ブラシ回収ボックスを製作！

社会福祉法人永照福祉会

〒広島市安佐南区西原 6 丁目 25-35

☎ 082-871-5350

🌐 <http://www.lotus-preschool.jp>

永照福祉会が運営する認定こども園では、先進的な幼児教育と持続可能な環境に向けた啓発教育を行っています。

子ども達が様々な体験をする中で、話し合いやプレゼンテーション、ICT の活用を導入することにより、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスしています。そして、家庭からの廃材利用や歯ブラシ回収プログラムによるリサイクル活動にも取り組んでいます。

最近では、男の子は青で女の子は赤というこれまでの固定観念から、男女関係なく制服の色を選ぶように改めました。昔ながらのマニュアル人間でなく、個性ある子どもを育てていくために、子どもを主として物事を進めていくことを大切にしています。また、保護者や地域住民への発信として、月 1 回の施設開放や保育内容の展示なども行っています。

自分が子どもだったらどういう保育を受けたいか、自分の子どもを預けたいくなる園とは、そのような視点を大事にしながら地域の子育て拠点を目指しています。

SDGs ポイント ♪

永照福祉会は 9 割が女性職員のため、処遇改善をはじめ、結婚・出産・育児をしながら働ける環境づくりを心がけ、質の高い教育だけでなく、職員の働き方にも高い意識を持って取り組んでいます。

女性のエンパワーメント、次世代のニーズを意識した保育、地域とのつながりなど、組織運営から保育事業に至るプロセスを通して持続可能な社会づくりを担っています。

6 安全な水とトイレ
を世界中に

シンプルな方法で地球環境の 「今」と「未来」を守りませんか？



C-セラミックスの技術を学ぶトーゴの研修生

有限会社コズミック

〒三原市円一町 4 丁目 1-40

☎ 0848-64-3584

🌐 <https://www.cosmic.co.jp>

有限会社コズミックは生物が本来持つ生命力を高める「忠海セラミックス®」を開発し、水と忠海セラミックス®を掛け合わせることで、肌荒れした皮膚、農作物、そして汚染された水質の改善などあらゆる問題を解決に導いてきました。具体的に農作物に関しては、収穫量が約2倍に増加しただけでなく、健康の大敵である農薬物を減らすことに成功し品質を向上させることができたという結果が報告されています。さらに、貧困に悩む国々の環境問題を解決に導く支援を行っています。2019年の9月からトーゴ（西アフリカ）の実習生を受け入れ、C-セラミックスの効果と製造のノウハウを、未来を担っていく若者に教えることで産業人材育成も行っています。これからの展望としては、セラミックスの技術をグローバルに広めるために、大学や企業との研究を行い、すべての人々が健康で安心して生活を送れる社会の実現を目指していきます。

SDGsポイント

再生能力の高い水を形成できる技術を持つ有限会社コズミックは、SDGsの17の全ての目標にアプローチ可能なことが大きな強みだと考えます。水に一粒の「忠海セラミックス®」を入れるというシンプルで私たちでも簡単に環境問題を解決に導くことができる第一歩を踏み出すことができます。この踏み出した一歩が、医療・健康・美容・環境改善に大きな効果を生み出し、現代の問題を改善するだけでなくこれから生まれてくる子どもたちの未来を守ることができると思います。





「サステナビリティビジョン 2050」の 実現に向けて



積水ハウス株式会社では、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）のESG経営を基に、SDGsに向けた取り組みを行っています。環境価値・経済価値・社会価値・住まいの手価値の4つの観点から、サステナブルを追求し、「サステナビリティビジョン2050」の実現を目指しています。

中でも脱炭素社会の実現では、住まいの断熱・省エネ性能を上げ、太陽光発電等で電気を創ることにより、年間の一次エネルギー消費量（空調・照明等）の収支プラスマイナスゼロを目指す住宅「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」の普及拡大に向け、ZEH商品「グリーンファースト ゼロ」の販売を促進しています。その1つとして、賃貸事業「シャーマン」や分譲マンションの分野でもZEH化によるCO2排出削減を進めています。

ZEH商品には、省エネと再生可能エネルギーの活用でCO2排出量を大幅に削減させる効果が期待されています。

SDGs ポイント

積水ハウス株式会社は、持続可能な社会の実現に向けて、2030年・2050年との中長期の目標を立て、確実な歩みを進めています。

お客様の本当の幸せの意味を考えながら、すべての人が住みやすい住まいを提供しようと努力をされています。今後、積水ハウスがどのように発展し、どのように私たちに幸せを提供してくれるのか、楽しみです。

積水ハウス株式会社 広島支店

〒広島市安佐南区西原5丁目16-6 ケイ・テイビル3階
☎082-871-8001
🌐<https://www.sekisuishouse.com/liaison/region/lia05/hiroshima/office/index.html>

8 働きがいも
経済成長も3 持続可能な
開発を実現する11 住み続けられる
まちづくりを

福祉と経済が融和する 建物総合管理のまちづくり



地域に密着してみんなの憩いの場になっている「うずしお会館」

ビルックス株式会社

〒 呉市阿賀南 1 丁目 8-49

☎ 0823-74-5963

🌐 <https://builx.com/>

ビルックス株式会社では、ビルメンテナンス業を主とし、その空間にいる人々に安全かつ快適に過ごしてもらうために、設備保守や清掃、環境衛生の業務等を行っています。

そこでは、高齢者や障害者が作業しやすい仕事が多いため、他企業の退職者も含めて積極的な雇用を行い、働きやすい環境づくりのための社員教育や現場同士のつながりを大切にしています。

日常的な保守や管理、点検は、不備や故障の早期発見につながり、修理費用の負担を軽減すると共に建物の寿命を延ばし、資産価値の向上や建物のライフサイクルコストの縮減に貢献しています。また、入船山記念館や大和ミュージアム等の公共施設の指定管理業務においても、ふるさとの歴史や文化を守る現場を通して、仕事への誇りや地元への愛着が育まれています。これからも、高齢者や障害者が生き生きと働ける職場づくりと、ずっと住み続けたいくなる呉のまちづくりに取り組んでいきます。

SDGs ポイント 卍

とびしま海道の下蒲刈島にあるコテージ梶ヶ浜の施設管理では、地域のまちづくり協議会と連携して、地元人材の雇用や砂浜を美しく保つための海岸清掃に取り組んでいます。また、音戸のうずしお会館の施設運営では、毎月開催している「うたごえ喫茶」に地元内外の高齢者が大勢集まり、指定管理業務をこえた地域の拠点づくりや課題解決に貢献しています。



8 働きがいも
経済成長も



働きやすい環境を創り、 社員一人ひとりのやりがいの実現



電子黒板の使用で出力環境の最適化

リコージャパン株式会社

〒広島市中区八丁堀 3-33 広島ビジネスタワー

☎ 082-511-2200

🌐 <https://www.ricoh.co.jp/>

リコージャパン株式会社広島支社では、社員が元気でいきいきと働くオフィスを創り、業績アップも実現させる狙いをもって「広島支社働き方改革プログラム」を発足しました。このプログラムは4つの分科会（①ショールームの刷新、②若手社員活躍推進、③マネジメントシステム、④新オフィス環境改善）で運用しています。特に④新オフィス環境改善では、スマートなオフィスを目指して管理職の専用席廃止に伴うコミュニケーションの活性化を、また打合せコーナーにはIWB（電子黒板）を設置しコミュニケーション強化を図りました。さらに社内コミュニケーションツールとして、2018年4月よりクラウド型業務支援サービスを全社導入し、情報管理・メール・SNS・オンライン会議・スケジュール等統合された情報共有環境を活用し、業務改善に繋げています。

SDGsポイント

広島支社働き方改革プログラムの4つの分科会のうちの④新オフィス環境改善では、机の上に書類などの資料を溜めずに個別のロッカーにしまうことや、帰宅時はデスクの上を綺麗に整頓し、何もない状態で帰宅することで、すっきりとした見通しのよい環境で働くことができると感じました。それにより社員間のコミュニケーションの活性化やコア業務への集中ができるようになっていきます。また書類もできるものは全てデータ化し、ペーパーレスにすることで紙資源の節約にもつながっています。

8 働きがいも
経済成長も

タクシー・バス事業を通して地域貢献



ドライバーが子供をタクシーに乗せている様子

株式会社東広島タクシー

〒東広島市西条町御園宇 3387

☎ 0120-33-1260

🌐 <https://www.e-taxi.co.jp/>

株式会社東広島タクシーは、全ての人に笑顔と感動を提供することをミッションとし、旅客運送事業を通して地域貢献をすることが存在意義だと考えます。

子育てタクシーは0～15才の子供・親・妊婦を対象にしたサービスです。子供や子育て世代が安心して移動することを可能にする為に、子育てタクシーは4つのコースがあります。「ひよこコース」は仕事で送迎ができない時に子供の通学や習い事等、子供のみの送迎をするサービスです。「このとりコース」は陣痛時に登録情報から出産医院と連絡をとり迅速に病院まで送迎をするサービスです。

東広島は自動車がないと生活が難しい地域です。我々タクシー・バス事業者が、どのような立場・状況の人でも地域の足として安心安全に運行をすることで誰ひとり取り残すことなく、全ての人に笑顔と感動を提供して参ります。

SDGsポイント

株式会社東広島タクシーは平成24年に「一般社団法人全国子育てタクシー協会」に加入し、子育てタクシーの運行を開始した。共働きの親が増えており子供の送迎に苦労する家庭が増えている。子育てタクシーは、妊婦や子供が安心して利用でき、タクシー利用者の増加だけでなく、運転手のやりがいにも繋がると考える。また、ハイブリッド車導入による環境への配慮やスマートフォンアプリ導入により地理感の無い出張者、耳に障がいがあり電話ができない方等、誰もが簡単に利用できるようになっている。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



4 質の高い教育をみんなに



8 働きがいも経済成長も



和菓子づくりを通じた地域創生



和菓子の魅力を伝えて文化を継承する和菓子教室

株式会社虎屋本舗

〒福山市曙町1丁目 11-18

☎ 084-954-7447

🌐 <https://www.tora-ya.co.jp/>

株式会社虎屋本舗は、まもなく創業400年を迎える福山市の和菓子屋で、和菓子を作ることに加え、和菓子文化の継承や和菓子を通じた教育活動にも力を入れています。そのため、熟練（高齢者）の和菓子職人が離島や山間部地域を回り、和菓子教室を起点とした商品開発を行うなかで、若者や子供たちへの和菓子文化の継承や高齢者の雇用促進、地域の活性化につなげています。また、これからも菓子産業を存続させるための取組として、「そっくりスイーツ」の開発もしています。例えば、たこ焼きのようなシュークリームなど、一見、和菓子とは関係ないように思えますが、「お菓子を通じて人々を笑顔にすること」というモットーに従って開発し、人気の商品の一つとなっています。和菓子産業の活性化や瀬戸内の地域創生、人々の笑顔のため、今日も一つ一つ丁寧にお菓子を作っています。

SDGsポイント

和菓子づくりを通して、その産業分野の持続を担うばかりでなく、技術や文化の継承と雇用機会の創出、地域の交流などを通じ、幅広い世代に対して、より良く生きるための術や場を提供しています。

11 住み続けられる
まちづくりを

ビルメンテナンスからマイナスのない まちづくり



庄原市役所のカーペット清掃を行う実習生

株式会社チューゲイ

〒 庄原市中本町 1 丁目 3-31

☎ 0824-72-0655

🌐 <http://www.chugei.co.jp/company.html>

庄原市・三次市・広島市にある様々な建物への「清掃管理サービス」「環境衛生管理サービス」「設備管理サービス」を通して、お客様に寄り添いながら、まちづくりをしています。清掃管理サービスでは日常清掃・カーペットクリーニング等を、環境衛生管理サービスではビル内の空気環境測定・貯水槽清掃等を行っています。その他にも、外国人研修生の受入を行い、地域の方やお客様のご協力のもと研修・資格取得のサポートなども実施しています。近年では深刻化する空き家問題の対策として、生前の所有物やゴミの整理の業務も行っています。このように、社会に存在する課題に対し、多面的にアプローチし、まちづくりを「明るく積極的に」の社はのものと取り組んでいます。今後も社会に対して独自の新たな価値を創造し、今あるものを維持管理していくことを目指していきます。

SDGsポイント 9

世の中には様々な「建物」があります。私達が普段何気なく利用している市役所・病院・ホテル・学校などを衛生的に管理することによって、利用者は「安全な環境」で「安心」して「快適」に過ごすことができます。安心して安全な水を飲むことができる、安心して安全に過ごすことのできる場所を提供することによって、私達の住む街を豊かで持続可能な街にしています。





地元住民に愛される場所になりたい



観光客も地元住民も集う「尾道みなと館」

尾道 OMOTENASHI 株式会社

〒尾道市久保 1 丁目 3-27

☎ 0848-20-8222

🌐 <http://onomichi-minatokan.com/index.html>

尾道 OMOTENASHI 株式会社が運営する「尾道みなと館」は、天然温泉の入浴や宿泊、飲食ができる施設として、地域の方々のご協力のもと尾道商店街や事業者と連携し、町おこしに取り組んでいます。

建物は古民家の廃材や古道具の再利用によって彩られ、地元採用したスタッフが中心となって、地元で採れた食材を使った料理をレストランで提供しています。さらに、周辺にある割烹料亭での食事付きプランや陶芸教室付きプランなど、商店街全体の温泉割引券を発行し、地域の活性化を目指しています。また、近隣住民の方が気軽に湯船でくつろげるように日帰り温泉会員の募集やイベントの告知を行い、地域とのつながりを大切にしています。昨夏の平成 30 年 7 月豪雨災害では、断水して困っている地域の方々が井戸水を利用できるようにして、できることから災害支援に取り組みました。これからも観光を通して持続可能な地域づくりに貢献していきます。

SDGs ポイント ♪

「尾道みなと館」は、温泉を通して地元の人がつながる場所として、そこにはスタッフ皆様のおもてなしが至ることに輝いていました。全国から取り寄せた牡蠣や地元食材を使ったメニュー、温泉で選べるシャンプー、商店街と連携したプラン、地元人材の積極的な雇用など、観光客だけでなく地域の方々が利用したくなるような、みんなに愛される素敵なサービスを提供しています。

11 住み続けられる
まちづくりを

住環境から地域や健康の充実へ



リノベーションの施工事例

株式会社マエダハウジング

〒広島市中区八丁堀 10-14

☎ 082-511-7552

🌐 <https://www.maedahousing.co.jp/>

マエダハウジングでは、3つの軸で性能向上リノベーションに取り組んでいます。1つ目は「断熱」で、家庭内事故で亡くなる方が交通事故の約5倍の17,000人、そのほとんどはヒートショックが原因と言われています。リノベーションによって家の断熱化を実現しヒートショックで亡くなる方を一人でも減らします。2つ目は「耐震」で、リフォームで耐震等級3レベルを実現して、震度7レベルの地震が来ても倒壊せず、長く住み続けられる家を作ります。特に広島県は耐震意識が全国でも最も低いと言われているので耐震意識を上げます。3つ目は、「空き家再活用」です。現在、社会問題として空き家の増加があり、広島県は特に団地に多く高齢化が進んでいます。そこで、中古住宅をリフォームして若い世代が予算内で自分たちのしたい生活を実現できるように質のいい中古住宅の流通を行います。日本の住宅にリノベーションを通して、価値のある住宅の実現を目指します。

SDGsポイント 11

住環境の改善により地域の活性化や健康の充実化を図り住み続けられる街づくりを行う。近年、自然災害による住宅の被害やヒートショック、熱中症などの家庭内事故死による断熱と健康被害が取りざたされています。また、人口減少にともない空き家の増加が社会問題になっています。リノベーションすることによって住む人の健康状態の改善や長く住み続けられる家の実現、地域の活性化に繋がっていきます。



11 住み続けられるまちづくりを



3 持続可能な消費生活



安心・安全な乗り物としての自転車の普及を目指す



安心・安全のための点検・整備を行っています

株式会社SANKYO

〒広島市中区舟入本町 5-1

☎ 082-291-3337

🌐 <http://www.55-sankyo.com/>

広島の中でも自転車を利用する人が多く見られます。また、ロードバイクなどの流行により、スピードの出る自転車を購入する人も増加しています。ほとんどの場所で、気軽に、誰でも利用できる自転車が車両であることを普段から意識して利用している人はどのくらいいるのでしょうか。株式会社SANKYOでは、自転車を購入し、利用者となるお客様に保険加入の提案を通じて、交通安全、交通マナーについて考えてもらう時間を提供しています。この取組は自転車の利用者が、自分が被害者にも加害者にもなりうることを再認識し、自分と周囲の人の安全を守るために役立つと考えます。

また、自動車と違い、自転車の点検は軽視されがちです。車両である自転車も、もちろん安全のためには点検・整備が重要不可欠であり、このことも保険の提案時に併せて案内をしています。

SDGsポイント

保険の案内をするにあたり社員の方は資格を取得しており、有資格者がお客様それぞれに適切な提案をすることができます。また、自動車に係る保険の特約としての加入など自動車と自転車の両方を取り扱う企業ならではの視点から、乗っている人も、周りの人も、安心・安全な乗り物としての自転車の普及を目指しています。

11 住み続けられる
まちづくりを12 つくる責任
つかう責任

今ある建物に付加価値を



屋上リノベーションによる新たな付加価値の提案例

株式会社ラックス

〒福山市曙町 4 丁目 3-18

☎ 084-957-5038

🌐 <http://www.lucks.co.jp/>

建築物にも耐用年数があり、安全・快適に使用するためには、メンテナンスが必要です。しかし、現在、日本では建設から長い年月を経て老朽化している団地が少なくありません。株式会社ラックスでは、防水や外壁・内装改修、耐震補強工事などのリノベーションを行うことで、古くなった建物を壊すのではなく、安全、快適かつ長く使うお手伝いをしています。また、リノベーションで建物そのものの延命化を図るだけではなく、屋上などの遊休スペースのリノベーションにより、今まで使われていなかった場所に新しく魅力的な機能を持つ施設を作り、建物全体の価値を高める御提案もしています。このほか、リノベーションにより整備された住宅などは、新築よりコストを抑えて供給することができるのも魅力の一つです。

SDGsポイント 11

住宅などの建物を建てることは、その場所で生活を営むということです。今ある建物を改修・補強工事によって、長く使う、つまり長く生活することができるようリノベーションすることは、住み続けられるまちづくりのひとつの方法なのだと思います。また、改修によって建物の価値を向上させ新たな利用を生み出すことで、建物の利活用を通じた地域の活性化にも寄与します。建て替えを回避することも省資源、廃棄物削減の一助となっています。





11 住み続けられるまちづくりを



8 働きがいも経済成長も



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



13 気候変動に具体的な対策を

地域社会と強い信頼関係で結ばれた頼りがいのある〈ひろぎんグループ〉を構築する



2021 年竣工予定の新店ビル（イメージ）

株式会社広島銀行

〒広島市南区西蟹屋 1 丁目 1-7（仮本店）

☎ 082-247-5151

🏠 <https://www.hirogin.co.jp/>

株式会社広島銀行は、地域活性化や環境への配慮等によってSDGsに貢献しています。例えば、外国人を含む観光客増加を促進するために、「せとうちDMO」と連携して再開発用地への世界的ブランドホテルの誘致・建設等の本業を通じた支援を行うなど観光振興に取り組んでいます。観光関連事業を支援することで、人の流れを生み、広島産業を活性化させています。また、低炭素でかつ災害に強い都市づくりを目的とした環境／防災に配慮したまちづくりに向けて、防災やエネルギー効率の観点から課題のある古い建物を新しく建て替える資金など金融面から再開発事業へ参画しています。行政だけで地方創生を進めるのではなく、民間企業も参画していくことで地域社会の活性化を目指し、地域を元気にし、銀行も成長していく。お互いにとって良い方向へ進む社会を作るためにSDGsを取り入れた活動をしています。

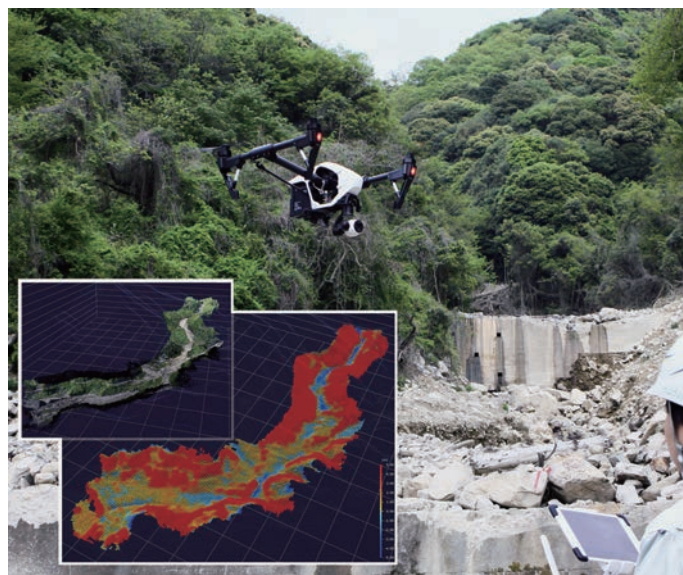
SDGsポイント

地域とともにある企業であるために、地域の方が住みやすく、持続可能性のあるまちづくりに積極的に取り組まれていました。

主な具体例として、観光業の促進、環境／防災へ配慮した建物づくりへの支援が挙げられます。「ESG投資」の観点から、SDGsに沿うような事業への融資に積極的に取り組まれています。その結果、地域が元気になり、企業も元気になることを目指しています。



見えないところで築かれる 安心で持続可能なまちづくり



災害現場のドローン 3D測量計測から 3次元測量 CAD 図面を作成

ウムヴェルト株式会社

〒呉市阿賀南 8 丁目 1-7
☎ 0823-76-5855
🌐 <https://umwelts.co.jp/>

近年、インフラ設備の老朽化や度重なる自然災害によって、私たちの安全・安心が揺らいでいます。政府も「国土強靱化」を掲げ、災害に強い国づくりを推進しています。

総合建設コンサルタントのウムヴェルト株式会社は、土木設計、測量調査で培った技術力を投入し、安全・安心のもと、持続可能で住み続けられるまちづくりに貢献しています。

地中探査や非破壊検査、3D スキャナードローンなどの新技術をいち早く導入・習得し、インフラ設備の問題点の発見、補修・改修による長寿命化につなげるとともに、ひとたび災害が発生した場合には、人が近づけない現場の状況把握や図面・3D 画像などを駆使した初動調査を担っています。平成 30 年西日本豪雨でも、広島県や被災した市町の要請に応じて 300 か所に及ぶ災害測量に対応しました。また、調査データの解析には専門的な知見が必要であり、社員の動きやすい環境づくりを通じて、人材の確保、技術力の維持に努めています。

SDGs ポイント A

会社名の「ウムヴェルト」はドイツ語で「環境」を意味します。その名の通り、土木・建設とそれを支える技術者を、長く安心して暮らしていける環境づくりの礎と考え、社会に対して貢献する企業であり続けることを目指しています。従来のスクラップ&ビルドではなく、既存のものへの保守・メンテナンスによる弱点の発見や補修・補強など対応によって、安全の確保だけでなく、資源の無駄遣いをなくし、環境にもやさしい「転ばぬ先の杖」であるようとしています。



12 つくる責任
つかう責任



9 産業と資源効率の
向上につなぐ



17 パートナリシップで
目標を達成しよう



TPC changes the way to recycle !!!



バッテリー再生充電装置 Twin Pulse Charger(TPC)

株式会社 HIVEC

〒東広島市西大沢 2 丁目 1-21

☎ 082-490-0700

🌐 <http://www.hivec.com>

株式会社 HIVEC は自動車や鉄道の部品の設計開発業を営む中で、事業の一つとして、バッテリー再生充電装置 Twin Pulse Charger (TPC) を循環型社会への貢献を目的として開発しました。

現在ほとんどが廃棄に回っている自動車や洗浄機器の鉛バッテリーを充電して再利用することができ、バッテリー製造時に発生する二酸化炭素の排出量を減らすことに繋がります。また、鉛バッテリーに使われる鉛や希硫酸などの有害物質の排出量も抑制することができます。TPC のさらなる普及を推し進めていくことが産業廃棄物の減少、有害物質の使用、排出の減少につながり、SDG12「つくる責任、つかう責任」の達成に貢献できると考えています。量産消費という産業構造を変えるために、県内企業をはじめ、様々な国内外のステークホルダーとパートナーシップを結んで、再生バッテリーの活用を広めていきたいと考えています。

SDGs ポイント ♪

SDGs の目標を達成するためには、社会貢献と、企業として収益を上げることの両立が大切だと HIVEC の方々は考えています。技術力の発展に向けた日頃の業務が社会貢献に繋がっているという、清水社長の想いが社員全体に伝わり、SDGs への積極的な取り組みに繋がっていると感じました。

12 つくる責任
つかう責任

環境に優しいリサイクルトレー



環境に配慮し、リサイクルされたエフピコ製のトレー

株式会社エフピコ

〒福山市曙町 1 丁目 13-15

☎ 084-953-1145

🌐 <https://www.fpc.jp/>

発泡スチロールは「軽く」「強く」「安心」なトレーです。雑菌やほこりなどから食品を守り、食中毒予防などに役に立ちます。また鮮度を保つことや保冷保温にも役に立ちます。国内の簡易食品容器市場における容器メーカーの数は、約 100 社。その中でエフピコは 30% 近いシェアを占めています。このトレーは環境に優しく、トレーの約 95% が空気できています。「ポリスチレン樹脂」の原材料は「原油」。つまり、ほんの少しの原油を有効に使って作られています。また紙の容器に比べると 1/3 ~ 1/4 の重さ、家庭ゴミに占める重さの割合はわずか 0.2% です。さらにリサイクルが進めば、この割合はもっと下がります。1990 年からスーパーマーケット等の回収ネットワークを構築して、自社のリサイクル工場で原料に戻し、食品トレーに再生しています。回収拠点は全国約 9,260 箇所、年間約 8,800t (約 18 億 5,000 万枚) リサイクルしています。(2019 年 3 月末現在)

SDGs ポイント ♪

多くのスーパーマーケットで使われているトレーは、エフピコが使用済みの発泡スチロール製トレー、透明容器、PET ボトルを回収し、リサイクル工場で原料に戻すことで、もう一度食品トレーとして利用されます。こうしてできたリサイクルトレーは「エコトレー」「エコ APET」と呼ばれています。原油から新しく作るトレーにくらべると、CO₂ の排出量を 30% 低減できます。2018 年度は CO₂ を 13.5 万 t 排出抑制する事ができています。



12 つくる責任
つかう責任



「かぎりあるものを、かぎりなく」を スローガンに、新しい価値を生み出す



多彩な用途に使われるスーパーソル

株式会社こっこー

〒呉市広多賀谷 1 丁目 9-30

☎ 0823-71-9191

🌐 <https://www.cocco-at.jp/>

株式会社こっこーは、鉄スクラップや古紙の回収・加工販売から、産業廃棄物収集運搬・適正処理、鋼材や建築資材の加工・販売、エクステリア製品などの販売・施工、そして大手企業構内作業を展開する「総合的リサイクル活性化企業」として、環境保全や地域社会の活性化に貢献しています。

資源を原料として再利用するだけではなく、全く異なる新たなリサイクル製品へと生まれ変わらせています。同社が製造する「スーパーソル」は、多くが埋め立て処分されている色付きガラス瓶をガラス発泡軽量資材としてリサイクルするものです。利用用途は、土木資材などの他、水質浄化のための吸着剤、防犯砂利（敷き詰めた砂利に足を踏み入れると、ガラス質の砂利同士がこすれ合って特有の音がする）や、軽量な点を生かして屋上緑化など、幅広く私たちの生活の身近に生かされています。

SDGs ポイント ♪

社名の英語表記は「COCCO」で、「COMfortable、Cycle、COMMunity」の頭文字で構成されています。これは、人に「心地よい環境」を作り、資源を「持続的に活かす」ことで、「地域」と共に成長するという理念を表しています。資源の再生によって環境負荷を低減するだけでなく、生活の快適性や安全性につながる製品として「再び生かす」ことで、地域を支えようとする企業の姿勢がうかがえます。

12 つくる責任
つかう責任

その段ボール箱、まだまだ使えます



再利用段ボール箱への詰め替え作業

株式会社ヤマワ

〒福山市新市町戸手 121

☎ 0847-52-3060

🌐 <http://www.yamawa-co.jp/>

婦人衣料の製造・販売を手掛ける株式会社ヤマワ。商品輸送には梱包資材として多くの段ボール箱を使用しています。業務用で取り扱う段ボール箱は、商品を取り出した後、畳んで一時保管し、一定量が溜まると廃棄されるのが一般的ですが、ヤマワでは「段ボール箱の積極的再利用」に取り組んでおり、自社内で整理箱として活用や商品の組み替え発送の場面などに用いています。当初はコスト削減のために始めた取組でしたが、その意義を認め、現在も継続して行っています。この取組によって、森林資源の保護、紙資源の有効活用、廃棄物としての運搬に伴う二酸化炭素の排出抑制などに貢献しています。また、自社の取組にとどまらず、取引先の理解を得ながら、再利用の進んでいないこの業界における普及を図るための働きかけを行っています。

SDGsポイント

空き段ボール箱の保管場所の確保、箱の組み立てや商品の詰め替えなど手間もかかる上、取引先によっては再利用段ボール箱に違和感を覚えるところもある中で、社内においては新しい段ボール箱の使用量を数値で共有するなど意識を高め、社外に対しては資源の無駄遣いを排除する意義への理解を訴えています。創業 70 年になる老舗のアパレルメーカーだからこそ、先頭を切って舵を切らねばならないとの使命感を持った取組が、業界の常識を変え、新たな仕組みとして成立することを期待します。





建物再生技術がつくる、持続可能な社会



建物再生の施工例

井本建設株式会社

〒呉市山手 1 丁目 1-33

☎ 0823-23-2506

🌐 <https://imoto-build.jp/>

井本建設株式会社は、1933 年の創業以来、広島県内を中心に個人住宅から社寺仏閣などの伝統建築まで幅広く手がける総合建設会社です。そして近年力を入れているのが、建物再生技術です。それは、従来のリフォームやリノベーションとは異なり、既存建物の躯体主要構造部を継続利用しながら、現行法規に適合する耐震改修を行い、デザインや機能ともに新築同等の建物へと生まれ変わらせる手法です。既存の躯体主要構造部を再利用するため、新たに躯体等に関する建築資材を使用する必要がなく環境保全につながります。さらに、元々使われていた躯体主要構造部の長寿命化、建築コスト削減、事業期間の短縮なども可能になります。耐震診断や既存建物の調査が必要なため、企画・設計に新築の建物よりも時間がかかってしまいますが、総合的な工期短縮や建物の長寿命化、建築コストや二酸化炭素排出量の削減を達成することができるため、企業として積極的に取り組んでいます。

SDGs ポイント ♪

岡山県真庭市の図書館がこの技術で再生したように、人口減少のすすむ地方都市では安易な建て替えや建物規模の拡大ではなく、現存する建物をいかに活用するかが重要です。現在、日本では長期優良住宅に認定された建築を税制で優遇する等、建物の長寿命化を促進しており、建て替えと比べ廃材発生量や二酸化炭素排出量をおよそ 80% カットすることができる建物再生技術は優れた手法であるといえます。持続可能な社会の実現に貢献できるこの技術の果たす役割は大きく、今後その必要性が増していくことは違いありません。

14 海の豊かさを守ろう



市民とともに里海づくり



参加した小学生が実際に間伐材漁礁づくりを体験しました

一般財団法人広島県環境保健協会

〒広島市中区広瀬北町 9-1

☎ 082-293-1511

🌐 <http://www.kanhokyo.or.jp/>

広島県環境保健協会は、「みんなの生命をまもりたい」を基本理念に掲げ、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組んでいます。この「みんな」には、地球上の人間や動植物がすべて含まれます。

住みよい環境づくりの活動の一つとして、瀬戸内海の環境を改善する取り組みを進めています。豊かな生態系を保全する意識を持ってもらうことを目的に、市民参加型のイベント「里海と里山づくり体験学習会」を開催しました。このイベントでは1年間（全7回）のプログラムにより、親子で海の生物の採集、観察や間伐材漁礁づくりなどのさまざまな体験を通じて、若い世代に里海、里山の環境保全や管理について学び、考えてもらうことができました。このような里海づくりに関連した取り組みは東広島市で継続して実施されています。また、藻場や干潟再生についての研究を受託し、成果は、論文、学会発表等を通して公表することで、各地の豊かな里海、里山づくりのための取り組みも進めています。

SDGsポイント

親子で参加するイベントでの取り組みであり、若い世代に環境について学び、考える機会を提供できることがこの取り組みの魅力です。また、1年間を通じた体験活動から環境の変化・結果を観察できることも大きな特徴だと言えます。



14 海の豊かさを守ろう



広島県産の牡蠣殻でつくる安心・安全の壁材



牡蠣殻と折子鶴を使用した壁面塗材

丸栄株式会社

〒広島市中区十日市町 1-4-31

☎ 082-292-4111

🌐 <https://kaitekikukan.hiroshima-maruei.com>

広島県名産のおいしい牡蠣。県内各地で食べられている牡蠣の殻がその後どうなっているか御存知でしょうか。丸栄株式会社は、広島県産の牡蠣殻を使用した壁用の塗材を開発しました。牡蠣殻は一定期間海中で保管された後、乾燥、粉砕され飼料や肥料のほか、この壁面塗材などになります。本来、壁用の塗材の取り扱いには職人の専門的な技術が必要ですが、牡蠣殻をゴミとせず、再利用することで生み出されたこの塗材は、主な材料を天然由来とし、安心・安全かつ誰でも簡単に扱えることが大きな特徴です。また、牡蠣殻にはホルムアルデヒド等の有害物質を無害化したり、調湿したりする効果もあり、誰もが簡単に安全で快適な住まいを手に入れることができます。

SDGsポイント

牡蠣殻は日本画や歌舞伎の舞台絵などに使用される伝統的な材料であり、壁用の塗材としてとても魅力的です。広島県で作られ、消費される牡蠣の殻を再利用するこの取組は持続可能と考えます。また、平和記念公園の折子鶴を練り合わせ、「平和」も意識した広島らしい製品でもあります。

16 平和と公正を
すべての人に5 ジェンダー平等を
実現する13 気候変動に
適応する

平和の想いを製品にして 多くの人に届ける



広島にゆかりのあるモチーフを使用したレターセット

株式会社松田製袋

〒広島市中区舟入幸町 21-2

☎ 082-232-4388

🌐 <http://matsudaseitai.com/company/>

株式会社松田製袋では、平和記念公園に寄せられた折鶴や県内で生産されている大竹和紙でポチ袋やポストカードを制作しています。年間約1千万羽寄せられる折鶴を製品として再利用することで、資源を無駄にしないだけでなく製品を通して多くの人に平和に対する強い想いを届けています。また他にもエコアクション21という環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステムに9年間取り組み、電気、ガソリン、水の使用量削減など環境問題に対する企業独自の対策も行ってきました。二酸化炭素削減に貢献する取り組みに成功し、これからまた新しい取り組みをしていこうと考えています。製品に関しても、取り組みに関しても平和と環境を大切に考え、製品を通してそれを多くの人に伝える重要な役割を担っています。

SDGsポイント

折鶴は平和記念公園に年間1千万羽以上寄せられており、その折鶴はもともと廃棄されていましたが、資源を無駄にしていることはもちろん平和を祈って鶴を折ってくれた人への申し訳ない気持ちもあったそうです。それを製品の原材料として活用することは、環境にも平和を祈る人にもどちらにも配慮した最善の取り組みだと感じました。



17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



8 働きがいも
収入もある



SDGsに取り組む企業を増やす



未来につながる経営のお手伝いをしています。

未来会計 FAMZ 岡崎純也税理士事務所

〒広島市西区古江新町 15-14

☎ 082-507-4007

🌐 <https://famz.letgroup.net/>

広島県内の企業の中にはSDGsに取り組んでいない、そもそもSDGsのことをまだ知らないという企業も多くあります。税理士事務所として数多くの様々な業種の企業との間に契約が存在することを利用し、SDGsの周知、達成に向けた取組を促進することを目指しています。具体的には、2020年末を目標に現在、顧問契約を結ぶ約150社に対し、SDGsに関する目標を設定していただくよう働きかけ、その達成に向け、会計の側面から進捗管理などのサポートに取り組んでいます。また、新たに顧問契約を結ぶ企業には契約時に必ずSDGsの目標番号やターゲットを設定し、ともに取り組んでいくという取組も進めています。これらの取組により、広島県内の多くの企業にSDGsを知ってもらい、そして自分事として取り組んでもらうことで、SDGsの達成、また、持続可能な企業のお手伝いをしていきます。

SDGsポイント

まだまだ広島県内のSDGsの認知度、実行度は十分とは言えません。この取組の魅力は、業種を問わず様々な分野の数多くの地元の民間セクターにSDGs達成に向けての働きかけ、サポートができることです。この取組により多くの企業がSDGsを知り、考え、実行する、そんな流れができることが期待されます。

17 パートナリシップで
目標を達成しよう

ONE DREAM～アートで繋がる世界～



平和記念式典前日 8月5日の ONE DREAM 会場周辺

一般社団法人 one dream

〒広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2 階

✉ srsvt@outlook.jp

🏠 <http://one-dre.com/>

一般社団法人 one dream は 1998 年に始まった 8 月 5 日の原爆ドーム前を舞台にした平和コンサートを継承し、2015 年からピースイベント「ONE DREAM」を開催しています。多くの人は無意識のうちに言語や階級、思想や宗教など、環境や考え方の違う他人との間に壁を作りながら生きています。私たちは、世界的観光地でもある原爆ドーム前と宮島において、SDGs をテーマにしたアートワークショップや音楽ライブ、トークショーや美術展示、平和構築活動の紹介や展示ブースなど、国内外の様々な表現活動の紹介を行うことで、様々なエリアからの人々が国際平和拠点ひろしまで多様な価値観に触れられる場をつくり、人と人があらゆる壁を超え共感しあえることを目指しています。それと同時に、SDGs を指針とするこのイベントを行政・企業・出演者・来場者などが協働して作り上げることで、GOAL17 のパートナーシップの活性化を目標としています。

SDGs ポイント 17

SDGs を多くの人に知ってもらうには、まず SDGs の考えを理解してもらわなくてはならないと思っていました。しかし、one dream を取材させてもらい、私の考えは少し変わりました。SDGs の考えてこんなに単純なことだったのだと。理解するしない関係なく、日々の生活で私たちが誰かを思っているその活動は、SDGs の目標達成に貢献できているのではないかと思います。one dream は活動を通して、多くの人に自分の活動は小さいながらも世界に SDGs の実現化に貢献しているのだと自信を与えるような力をもつ団体だと思います。



参加学生コメント

SDGs は企業の取り組みだけでなく、私自身の行動1つでも社会問題を解決に導くことができると企業様に教えていただきました。今回のセレクトブックの制作を通して、多くの広島の人が SDGs を知るきっかけになれたらと思います。

(安田女子大学 山地香菜 さん)

この活動を通して、多くの企業が SDGs の取組みを企業の成長剤として活用していく未来があるのかなと思いました。SGDs は社会の為の活動と企業の成長の為の活動、その両方を兼ね備えた考えだと思います。セレクトブックの制作に関わることができて本当に良かったです。

(安田女子大学 貴船美紅 さん)



私は以前から SDGs に関心があり、今回のプロジェクトに参加させていただきました。私は積水ハウス様取材させていただきましたが、企業様の行なっている取組を学び、原稿を作成する中で、企業様の想いが伝わるように文章を考えることに苦労しました。無事完成させることができて嬉しいです。

(広島大学 向井舞乃 さん)

私はこの活動を通じて初めて SDGs のことを知り、勉強しました。まだまだ知らない人は少なくないため、SDGs に取り組んでいる企業で働く現場の人でさえも、自身がどれだけ素晴らしい仕事をしているかを把握できていないのが現状です。

SDGs の認知が広がれば、就活をする学生の、企業を見る1つの選択肢にもなり、環境問題や貧困問題の解決からより良い企業、そして日本が形成されてゆくでしょう。

私はこの活動を通じて学生や企業の方々に、小さなことが SDGs に繋がることを知ってもらい、社会問題に目を向けて貰いたいです。このような活動が出来たことを誇りに思い、自信をもって皆さんにこのセレクトブックを届けたいです。

(安田女子大学 大隅綾乃さん)

参加企業コメント

せとうちは広島の地にてSDGsを起点とした多彩なイノベーションの種火をそこかしこに感じます。

聞こえの良い言葉の羅列ではなく、変革たるビジネスチャンスとして、あるいはより豊かな地域社会の実現に向けて挑戦する人々を日本人として誇らしく思います。

(株式会社虎屋本舗 取締役副社長 高田 海道 様)



私たち地元企業と将来の地域の担い手となる県内大学生がSDGsでつながり、大学生の取材を通して私たち地元企業の取組みを広く知って頂くことができる素晴らしいプログラムであると思います。今を生きる私たちと将来を担う大学生が現在の課題を共有して情報発信することにより、広く県内の企業や個人の方々にSDGsが普及し取り組むことで、持続可能な地域社会になることを期待しています。

(株式会社広島銀行 総合企画部 広報・地域貢献室 担当課長 鎌田 浩司 様)

※コメント欄の内容と掲載写真との関連はありません。

SDGs ビジネスセレクトブック制作プロジェクト大学生フェロー

(※五十音順 / 敬称略)

浅井 はるな	(広島大学)	白 浜 恵	(広島大学)
大 隅 綾 乃	(安田女子大学)	玉 田 雅 温	(広島修道大学)
金 井 円 花	(県立広島大学)	名 越 落	(安田女子大学)
貴 船 美 紅	(安田女子大学)	平 原 颯 真	(広島修道大学)
久 保 直 樹	(広島大学)	宮 原 海希伯	(広島修道大学)
栗 本 大 生	(広島都市学園大学)	向 井 舞 乃	(広島大学)
桑 田 亜 耶	(福山大学)	森 安 菜奈海	(安田女子大学)
佐 藤 翔	(広島修道大学)	山 地 香 菜	(安田女子大学)

未来につなげるSDGsとビジネス 2
～広島における企業の取組現場から～

発行日：令和元年 10 月 23 日
発行元：広島県地域政策局平和推進プロジェクト・チーム
〒730-8511 広島市中区基町 10-52
Tel：082-513-2366（ダイヤルイン）
<https://hiroshimaforpeace.com/>
制作協力：環境省 中国環境パートナーシップオフィス
（運営団体（特非）ひろしま NPO センター）
〒730-0011 広島市中区基町 11-10
Tel：082-511-0720
<http://epo-cg.jp/>

